

# セルフモニタリング報告書(令和5年度分)

令和6年4月30日

施設名 アブロス沼ノ端スポーツセンター(苫小牧市沼ノ端スポーツセンター)

指定管理者名 都市総合開発(株)・シンコースポーツ北海道(株)コンソーシアム

所管課名 総合政策部 まちづくり推進室 スポーツ都市推進課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
<b>1 事業計画の達成度</b>		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	大きな事故、トラブル等が無く運営することが出来ました。 事業計画の内容に沿った最大限の努力により、利用者数は過去最高の実績を更新いたしました。また、利用者アンケートでも高い評価を頂くことが出来ました。	A・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	利用者獲得のため、遊具無料貸出しキャンペーンや施設の装飾、SNS 配信の強化など施設利用者を獲得のための取組を積極的に行いました。また、体育館を活用したイベントなどを開催したことで、過去最高の利用者数を獲得することができました。 今後も利用者のニーズを感じ取り、万全な体制でお迎えできるよう準備を整えて参ります。	A・B・C・D・E
<del>施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。</del>	<del></del>	<del>A・B・C・D・E</del>
自主事業は計画どおり行われたか。	利用者のニーズに合わせて積極的に実施いたしました。毎回好評の短期水泳教室では従来のグループ制に加えて少人数制を取り入れるなど、現況に合わせて工夫した運営をする事が出来ました。 また、プール施設使用料定額キャンペーンや遊具無料貸出し等利用者に大変喜ばれております。	A・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	近隣の小中学校や町内会の代表者で構成される利用者協議会を実施致しました。有事事項につきましてはその都度意見や要望を頂けるよう連携を強化しております。苫小牧市消防本部の水難救助訓練の協力や中学生の職業体験等の受け入れ態勢も整えております。	A・B・C・D・E
<b>2. 利用者の満足度</b>		
利用者の満足が得られているか。	利用者アンケートの調査結果から、「施設全般について」の項目で「やや満足」以上の回答が99%を達成し、大変高い評価を頂くことができました。	A・B・C・D・E

利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	施設受付前にご意見・ご要望カードを設置しております。投函された意見要望については館長が回答後、従業員に向けた回覧を作成し、全従業員が把握するよう努めております。	A・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	利用者から寄せられた意見・要望・苦情はすべての項目に館長が回答し、その都度検討・改善をしております。	A・B・C・D・E
<b>3 管理運営の効率性</b>		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	電気料や熱量、水道料の節約を図るべく経費の削減に努めております。また、施設の修繕についてもできるだけ職員自らが行うよう努力しております。	A・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	苫小牧市内に事業所がある信用ある企業を選定しております。また、経費が削減できるよう、見積は複数社に依頼し、決定した業者とは十分な協議も行っております。	A・B・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	新規利用者の獲得の為、広報やホームページ、新聞紙面等による施設の案内、SNSを使用しPRをしております。また、苫小牧市に限らず近隣の地方小学校、幼稚園、保育園にチラシを配布しました。プールサイドや観覧席での運動教室の開催など、運動初心者から上級者、年齢を問わず幅広い利用者確保の為に様々な運動プログラムの提供や運動処方プログラムの実施をしております。	A・B・C・D・E
<b>4 適正な管理運営</b>		
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	消防訓練や AED 講習、溺者想定救助訓練を実施しております。また、職員の個々の能力向上に向けた個別指導、外部講習会への参加や他施設への視察も積極的に行っております。職員の能力向上が利用者への還元になり得る事から、職員に向けた研修は重視しております。	A・B・C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	消防訓練や津波を想定した訓練、AED 講習、溺者想定訓練の実施により、職員は危機管理に関する知識を深めております。事故防止の為、施設案内により注意を促しております。また、危険な場所には踏み台やクッション材等も設置しております。	A・B・C・D・E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	管理・運営に不安のない適正な人員を配置しております。利用者が快適に利用できるよう職員を多く配置し対応しております。	適・不適

施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	子どもから高齢者、障がい者まですべての市民が安心して快適に施設利用できるように十分配慮しております。また、使用料の減免についても、沼ノ端スポーツセンター条例・規則に則り対応しております。	適・不適
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	業務上知り得た情報は、個人情報保護の観点から書類等は社外から持ち出さず、鍵のかかる書庫に保管しております。また、不要な書類はシュレッダー処理を徹底しております。	適・不適
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	収支について適正に処理し計上しております。また、担当課が行う実地調査にも適正に対応しております。	適・不適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法定点検について、必要な全ての項目を終了しております。また、法定点検以外にも必要と思われる内容については独自で保守点検・定期点検を実施しております。	適・不適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	重要な書類は鍵のかかる書庫に保管しております。備品の管理についても、修繕の必要なものは速やかに対応し、購入や廃棄の手続きも適切に行っております。	適・不適
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	法令・協定書・沼ノ端スポーツセンター条例・沼ノ端スポーツセンター規則を順守し管理運営をしております。施設の持つ役割を十分理解して運営しております。	適・不適
<b>5 地域貢献</b>		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	職員は地元の雇用を優先しております。資源調達や委託業者は苫小牧の業者を優先に考えて選定しております。また、中学校と連携し職業体験の受け入れ態勢を整えております。 さらに、自主事業経費による雇用人数拡大など、雇用による貢献もしております。	A・B・C・D・E

A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。

B: 目標、事業計画どおりの取組がされており、管理運営状況は良好である。

C: 概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。

D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。

E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

**自己評価** ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

#### [4 適正な管理運営]において不適がある場合、その理由と今後の対応について

#### 指定管理者の自己評価(全体を通して)

令和5年度の管理運営に当たり、事業計画書を基に基本協定書や沼ノ端スポーツセンター条例、規則を順守致しました。また、スポーツ都市推進課や各関係機関と適切に連携できたことで、大きなトラブルや事故を起こすことなく管理運営することができました。

積極的に施設を有効活用し、“最大限の努力による安定した運営”に注力したことで、利用者数は過去最高の実績を更新することができ、安心・安全で楽しく運動できる施設づくりと適正な管理運営ができたと自負しております。

常に利用者目線に立ち、指定管理者に与えられた役割を理解した上で、『地域に根差した運営』や『魅力のある施設づくり』に尽力することが、施設利用者へのサービス向上につながると思っております。

施設の賑わいや発展は利用者の「楽しさ」や「生きがい」そして「豊かさ」につながるということから、指定管理者として施設の管理運営を通して地域や近隣住民の「健康」の一役を担っている事を理解し、ただ単に運動やスポーツのために行く場所ではなく、心も「元気になる場所」「笑顔になれる場所」としてより多くの市民が利用できる空間を創造し、過去に縛られることなく、明るい未来に向けた取組を積極的に提案していきたいと考えております。